

編集後記：学会発表を聞いている時に、1つの専門用語を知っているかどうかで、発表全体の理解度が大きく変わってしまうことがあります。ですので、専門用語を効率的に学べる情報源があることは、ありがたいことです。

一般のウェブサイトは気軽に情報を手に入れられて便利ですが、専門用語によっては正確な情報が十分には見つかりません。事典は専門用語を正確に調べられますが、新しい情報が反映されるまでに時間がかかります。そんな時に第3の情報源として重宝しているのが、2ページほどの記事に重要な情報が簡潔にまとめられた「天気」の新用語解説です。

実は私は「天気」の編集委員になるまで、新用語解説は「新しい用語」の解説だと思っていましたが、実際には用語の「新しい解説」というニュアンスのようでした。用語自体は必ずしも新しくなくても良いのだと教わりました。最近担当した記事を例に挙げます

と、「ダストデビル（塵旋風）」は身近によく知られた現象ですが、火星での観測やLESによる研究などの新たな知見が加われば、それは「ダストデビルの新しい解説」になるわけです。

そう考えると、新用語解説の対象は意外と幅広く、これまでも用語の使われ方の現状に合わせて様々な紹介の仕方がなされてきました。国内外の学会で最近よく聞くようになった新しい用語の紹介はもちろん、既存の用語で新しい知見が得られたものの紹介、あるいは、複数の定義があってイメージが錯綜している用語の整理など、執筆者や提案者の創意工夫が現れています。研究コミュニティにおける専門用語の共有は、効率的な議論を促進してくれるものと期待して、編集作業を進めています。今後も皆さんが学会やメーリングリストで議論をしていて、「この用語の解説があれば便利だな」と感じた時には、お気軽に編集委員にご相談下さい。（柳瀬 亘）